

参加者募集要項

日中韓ユース・サミット 2025

日中韓ユース・サミットは、3 か国の大学生・大学院生の相互理解と友好促進を目的として、2014 年にスタートしたプログラムです。3 か国で持ち回り開催され、今年度は日本の関西地方で開催します。

約 1 週間の合宿型プログラムを通して、参加者は将来においてユースの役割が期待される課題（人的交流と青少年教育、持続可能な開発と災害救援、経済、技術と地方創生、保健と高齢化社会）について議論を深め、最終日には模擬日中韓サミットを行います。また、関連機関の視察や文化体験の機会も設けられています。

日程	2025 年 8 月 4 日-9 日
場所	姫路市、神戸市および大阪市
共催	日中韓協力事務局（TCS） 日本国外務省
参加者	大学生・大学院生計 48 名（日中韓各 16 名）
テーマ	Designing a Future for All Generations: Solving common challenges for a better tomorrow
主なプログラム 予定 *内容は変更 となる場合が あります	(1) グループ討論、模擬サミット グループ討議では、参加者は、4 つの分科会ごとに 4 つの派遣団に分かれて間で議論を行います。どの分科会、派遣団に属するかは、参加者の希望をもとに、主催者が決定します。 - 分科会：①人的交流と青少年教育、②持続可能な開発と災害救援、③経済、技術と地方創生、④保健と高齢化社会 - 派遣団：参加者の出身国を問わず、①日本、②中国、③韓国、④TCS の 4 つのチームに分かれて議論を行います 模擬日中韓サミットでは、4 つの派遣団の間で議論が行われます。 (2) 講義

	- 第 9 回日中韓サミットの成果を受けて、さらに強化される予定の 3 か国協力の主要分野について - 日中韓 3 か国協力の重要性とユースの役割 - 日中韓サミットのプロセスとメカニズム (3) 視察、文化体験 - 関連機関や文化施設を訪問
使用言語	全て英語
費用	(1) 主催者側（日中韓協力事務局）が負担するもの 自宅の最寄り新幹線停車駅（又は空港（空路を使う必要性がある場合のみ））からの会場までの交通費、宿泊費、食費、プログラムの活動等にかかる費用、国内旅行傷害保険 (2) 参加者御自身に負担いただく必要があるもの 自宅から最寄りの新幹線停車駅（又は空港（空路を使う必要性がある場合のみ））までの往復交通費、前泊/後泊が必要となる場合の宿泊費、その他個人的経費など事業負担に含まれない費用
応募資格	以下全てを満たしていること 2025 年 7 月時点で大学生または大学院生であること - 日中韓協力に関心を有していること - 日本国籍を有すること - 英語に堪能であること 8 月 4 日（月）から 9 日（土）の全日程に参加できること
応募方法	応募申請書類（別途）を、以下のメールアドレスにお送りください。 achisei@mofa.go.jp